

# News Letter

前回発行よりしばらく期間が開いてしまいましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今号では先生方の紹介をさせていただきます。と思っています。

## 《副院長着任のご挨拶》

内科

川村 昌史



日頃よりけんみん病院の運営についてご協力いただきありがとうございます。私は令和5年4月より副院長に就任しました川村昌史と申します。

平成11年4月に県立宿毛病院に赴任し、県立西南病院との統合により設立された幡多けんみん病院に開院当初から勤務しております。現在令和5年ですのでけんみん病院に勤め始めて24年目になります。幡多地域の皆様には長年に渡り大変お世話になっております。

この間、医療を取り巻く環境は大きく変化してきました。高齢化問題、複雑な医療問題の出現、災害医療への取り組み、情報通信技術（Information and Communication Technology）の有効活用、働き方改革への対応、令和2年に突然現れた新型コロナウイルス感染症への対応など解決すべき課題が山積しております。

これまでは内科部長、感染管理部長、研修管理センター長として内科の運営や院内感染対策、新型コロナウイルス感染症への対応、初期臨床研修などへの対応、地域連携室への対応等を主とした業務を行ってまいりました。矢部院長からは引き続きその分野に注力するよう命じられております。加えて今後はより広い視野を持って、けんみん病院のみならず、幡多地域の医療全般に貢献できるよう努めて参ります。

けんみん病院では当院の理念である1. 幡多地域における医療の中核になる病院として、地域の他の医療機関や、保険・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指す、2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福

祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営を行っていくことを目標とし、当院の基本方針である、1. 正確で間違いのない医療、2. 十分に説明する医療、3. 透明性を大切にす医療、4. 患者さんの希望を大切にす医療を提供できる、幡多地域の中核病院であるために当院職員と共に日々研鑽に努める所存です。とはいえ地域住民の皆さまのご理解、ご協力無くして当院が地域の中核病院として機能していくことは難しいと考えております。引き続き幡多けんみん病院をよろしく願います。

## 脳神経外科 野島 祐司



令和5年4月より副院長を拝命いたしました野島祐司と申します。微力ではありますが、矢部院長をサポートし、よりよい病院を目指して職責を全うしてまいります。

と思っております。

私は、幡多けんみん病院が開院した平成11年4月に脳神経外科医として赴任しました。ちょうど脳神経外科では直達外科手術ではない脳動脈瘤コイル塞栓術、血管形成術などの新しい脳血管内治療（カテーテル治療）が始まった時期でした。その後、アルテプラーゼ静注療法や経皮的血栓回収療法などが導入され虚血性脳卒中に対する迅速な治療が発展し、現在に至っております。当院は365日24時間患者の受け入れを行う「一次脳卒中センター」としての役割を担っており、私は主に脳血管内治療の責任者として従事してきました。また、当院は幡多医療圏唯一の二次救急病院で災害拠点病院でもあります。救急外傷分野ではメディカルコントロール検証医、外傷病院前救護プログラム（JPTTEC）のコース担当医、災害分野では災害医療派遣チーム（DMAT）/災害医療コーディネーターとして従事しました。幡多地域の救急災害医療学習会の一つである「四国西南メディカルラリー」の運営にも関わり、他施設の医師、看護師、消防・救急救命士の皆さまと顔の見える関係を構築することができました。新型

コロナ感染症のため活動が制限されておりましたが、本年度からの再開を模索しております。この場をお借りして、関係医療機関の皆さまに御協力を賜りますようお願い申し上げます。

当院では脳神経内科、精神科常勤医が不在の時期があったため、脳神経外科でも認知症の診療も担当しました。認知症専門医として認知症サポート委員会として活動し身体抑制の減少への取り組みに従事、医療安全分野においては医療安全推進者、認定医療メデイエーター（対話推進者）として携わりました。

今回、矢部院長から医療安全、臨床倫理、災害・救急などに関して担当するように仰せつかりました。患者中心の医療の推進として患者の意志を尊重する診療、良質な医療の実践として診療ケアにおける質と安全の確保が重要な課題と考えております。患者さん中心の視点を大切にし、安心・安全なチーム医療の実践にむけて精進する所存です。御指導、御支援のほど何卒宜しくお願いします。

令和4、5年度に新しく赴任して来られた先生方をご紹介いたします。

Q1 あなたの担当業務を教えてください。

Q2 広報誌の読者へのメッセージをぜひ！

医局

麻酔科

山形 清子



Q1 麻酔科 医師

Q2 令和4年1月から赴任しております。手術に際してわからないこと、気にかかることがあれば何なりとお声がけください。どうぞよろしく願います。

医局

泌尿器科

竹森 大悟



Q1 泌尿器科 医師

Q2 標準治療を提供できるよう努めて参ります。不慣れなところもありますが、よろしくお願います。

医局

小児科

林 一鷹



Q1 小児科一般

Q2 幡多地域の小児診療の力になれるよう頑張っていきます。少しでも不安になること、疑問に思うことがあれば何でもご相談ください。よろしく願います。

医局

内科

土橋 直史



Q1 内科です。専門領域は膠原病・リウマチです。

Q2 フットワーク軽く頑張りたいと思います。お気軽にご相談ください。

医局

外科

江戸 直樹



Q1 外科（手術十外来）循環器内科（10月より転科予定）



**Q2** 4月より着任しました。外科と循環器内科で1年間お世話になります。短い間ですが一所懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。大学病院では心臓血管外科を専攻しておりますので、そちらに關してもお気軽にお声掛けください。

**医局**

**精神科**

吉本 康高



**Q1** 精神科 院内紹介を中心に担当させていただきます。

**Q2** 幡多地域の医療に少しでも貢献出来ればと思います。お気軽にご相談下さい。

**医局**

**整形外科**

岸 大樹



**Q1** 整形外科一般

**Q2** 4月より当院整形外科勤務となります。頸、肩、腰、膝などどこかが痛いとなったらまず受診を考えるのが整形外科ではないかなと思います。そんな

悩みを持った人たちの一助になればという初心を常に持って診療にあたる所存です。整形外科といったら大げがで手術をして：なんて印象もあると思いますが、こんなことで相談していいのかな、そんなに大事ではないのだけれど、などでもお気軽に相談していただければと思います。

**医局**

**脳神経外科**

福田 真紀



**Q1** 脳神経外科

**Q2** 少しでも幡多地域の患者さんのお役に立てる様がんばります。よろしくお願します。

**医局**

**内科**

大高 泰幸



**Q1** 内科外来、病棟

**Q2** 未熟者ですが患者さんに寄り添った医療を心がけますのでよろしくおねがいたします。

**医局**

**内科**

中村 優美

**Q1** 内科医師

**Q2** まだまだ未熟ですが、少しでもお役に立てるよう精進いたします。よろしくお願いたします。

**医局**

**内科**

安田 早耶香



**Q1** 内科で研修させてもらっています。

**Q2** 1年間内科医として成長できるように頑張ります。よろしくお願します。

**医局**

**消化器内科**

宇賀 俊輔



**Q1** 消化器内科

胃カメラ、大腸カメラなどお腹の臓器に關わる検査や治療を行います。内臓のがんに対する抗がん剤治療も幅広く行います。

**Q2** 4月より幡多けんみん病院消化器内科に着任いたしました。精進してまいりますのでよろしくお願申し上げます。

「かかりつけ医紹介パンフレット」を当院2階西玄関に設置しました。

「かかりつけ医」とは、健康に關することを気軽に相談できるうえ、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる医師のことです。

気軽に相談できる「近所のお医者さん」をみつけ、病気の予防・早期発見・早期治療につなげていきましょう。

**【医療機関関係者の皆さまへ】**

かかりつけ医紹介パンフレットの更新・新規格成等は随時受け付けております。医療機関のご担当者様におかれましては、お気軽にお問い合わせください。



## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をととして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの**（薬剤情報提供書・お薬手帳など）を持って行くようにしましょう！

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

調味料  
玉ねぎ（みじん切り） 1/4個  
すりごま 小さじ1杯  
生姜チューブ 5cm  
しょうゆ 大さじ2.5杯  
レモン果汁 小さじ1杯  
砂糖 大さじ1杯半  
酢 大さじ1杯  
ゴマ油 大さじ1杯

材料 2人分  
ナス 3個  
ミョウガ 3個  
チーズ（裂けるタイプ） 30g  
玉ねぎ 1/2個  
ネギ 2本  
鶏ささみ 100g  
酒 大さじ1/2杯

料理名：  
なすと香味野菜のパンパンジー



優しい食生活  
栄養科

- ① 縦半分にしたナスを薄く切る。お皿に並べてラップをし、電子レンジで4分加熱する。
  - ② 鶏ささみは酒を振ってラップをし、電子レンジで3分加熱。冷ましてから細かく裂く。
  - ③ 玉ねぎを1/4個みじん切りし、あとの1/4個は薄くスライスして水にさらす。チーズは細かく裂く。
  - ④ 調味料をよく混ぜ合わせてタレを作る。
  - ⑤ ①③と細切りにしたミョウガを混ぜ合わせ、タレを全体的に絡め、盛り付けてねぎを飾る。
- 高知県はナスの生産量全国1位です。なすと特有の濃紺色はナスニンというポリフェノールの一種で眼精疲労や酸化作用により肌のバリア機能をパワーアップして肌の老化を抑える作用があります。ナスニンは皮に多く含まれているため、皮ごと食べるのがオススメです。



統計	4月
外来患者数	9078人
新外来患者数	1339人
新入院患者数	448人
退院患者数	445人
平均在院日数	13.39日
救急車・時間外患者数	760人
手術件数	143件

## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
2. 医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利
3. プライバシーが保護される権利
4. 自分の希望を伝え、自らの意思で選択し、決定する権利
5. 人間としての尊厳が守られる権利
6. 他の医療機関の医師の意見「セカンドオピニオン」を求める権利
7. 子どもの「生きる」「育つ」「守られる」権利

